

## 2025年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：2025年12月19日（金）8:00~8:45

場所：箱根湯本富士屋ホテル2階コンベンションホール「箱根」（西）

出席者（敬称略）：青木裕次郎、秋岡祐子、芦田明、石井大輔、石倉健司、石田英樹、今村亮一、岩見大基、海上耕平、岡部安博、酒井謙、佐藤裕之、寺西淳一、豊田麻理子、中西浩一、野島道生、野津寛大、幡谷浩史、服部元史、濱崎祐子、藤枝幹也、藤丸季可、堀田記世彦、升谷耕介、三浦健一郎、横尾隆、渡井至彦（27名）

欠席者（敬称略、委任状あり）：漆原真樹、大田敏之、奥見雅由、賀本敏行、川崎幸彦、野口満  
欠席者（敬称略、委任状なし）：杉谷篤（計7名）

事務局：宍戸綾子（ピーシーオーワークス）

### 1. 第46回（2025年）会長の挨拶

石田英樹先生よりご挨拶いただいた。多数の参加者があり、企業協賛も得られ、経済面も含めて円滑に運営できていることが報告された。

### 2. 前回議事録確認

令和6年（2024年）評議員会議事録を確認した。

### 3. 新評議員の挨拶、紹介

石倉健司先生、野津寛大先生、今村亮一先生、石井大輔先生、横尾隆先生、升谷耕介先生よりご挨拶いただいた。

### 4. 令和6年度会計報告、監査報告

2024（令和6）年度の会計報告が事務局より行われた。年会費の督促を強化し、複数年の会費納入が増えたことから、徴収金額が多かったこと、それによって繰越金が少し増加したことが説明された。会計報告が適正なことが監事の藤枝幹也先生、渡井至彦先生の書面によって報告され、承認された。

### 5. 令和7年度予算案

2025（令和7）年度の予算案が事務局より報告され、承認された。

### 6. 会員動向

2025年12月1日現在の会員数は、正会員603名、名誉会長1名、名誉会員26名であると事務局より報告された。引き続き会員増加に向けた努力を続けることが議論された。演題発表の際に初期研修医は入会を必須としない案も議論されたが、財政面も考慮して見送られた。

### 7. 評議員の退任

大田敏之先生、賀本敏行先生、川崎幸彦先生、杉谷篤先生、野島道生先生、藤枝幹也先生、服部元史先生が退任されることが報告され、野島先生、藤枝先生からご挨拶いただいた。

## 8. 名誉会員の推薦

大田敏之先生、賀本敏行先生、杉谷篤先生、野島道生先生、藤枝幹也先生、服部元史先生が推薦され、承認された。

## 9. 監事の交代

藤枝先生に代わり、芦田明先生の幹事就任が承認された。

## 10. 次々期（第 48 回）会長の選出

第 48 回（2027 年度）会長に堀田記世彦先生（北海道大学泌尿器科）が推薦され、承認された。

## 11. 第 49 回（2028 年度）会長の選出

中西浩一先生（琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座）が推薦され、承認された。

## 12. 第 50 回（2029 年度）会長の選出

升谷耕介先生（福岡大学腎臓内科）が推薦され、承認された。

## 13. 第 51 回（2030 年度）会長の選出

今村亮一先生（長崎大学泌尿器科）が推薦され、承認された。

## 14. 編集委員会報告

2025 年 12 月 2 日に編集委員会が開催された。

服部元史先生、藤枝幹也先生、大田敏之先生が編集委員を退任し、新たに石倉健司先生、幡谷浩史先生が編集委員に就任し、編集委員長は服部元史先生から三浦健一郎先生に交代したことが報告された。

本田順子編集委員からの提案で看護部門の投稿のために設けられた「実践報告・事例研究」が 45 巻（2025 年 8 月発行）では 3 編と増えたこと、出版コストはぎりぎりまで削減しているが、広告費も年々減少していることが報告された。

## 15. RRT 誌

Renal Replacement Therapy 誌が日本小児腎不全学会、日本透析医学会、日本臨床腎移植学会、日本腹膜透析学会等の公式な英文誌であり、随時投稿が受け付けられていることが報告された。

## 16. その他

1) 優秀演題賞の応募・選考に関する申し合わせ事項が確認された。

2) 小児科学会専門医更新単位認定について

各大会で申請するが、小児科以外の先生が主催の場合は事務局が申請の支援をすることが確認された。

3) 学会収支状況

服部先生が事務局を引き継いで以降、徐々に増収して現在の財務状況になっていることが報告された。また、野島先生が大会長をされた際に多額の寄付をしていただいたことに改めて謝意が述べられた。

#### 4) 会員構成

2025年12月1日時点の会員構成が医師 93.49%・看護師 4.76%・管理栄養士 0.48%・薬剤師 0.32%・その他 0.95%（移植コーディネーター1名、教員1名、保育士2名、図書館員1名、無職1名）であることが報告された。メディカルスタッフの年会費は3,000円としており、引き続き多職種の会員増加を図る方針であることが報告された。

#### 5) 日本移植学会医療標準化・移植関連検査委員会からの依頼

渡井先生より、特に小児ドナーの場合のXM作業が膨大になっていること、検査できる施設が限られていることを背景として、献腎移植の際のphysical XMを省略することが日本移植学会で承認されたことが報告された。また、全待機患者で抗HLA抗体の測定が可能となる予定であり、抗HLA抗体がない患者はphysical XMが省略される予定であることが報告された。厚労省・JOTからアナウンスされたら、抗HLA抗体の測定と結果の登録をしてほしい旨が報告された。

#### 6) 事務局長の交代

服部先生が退任され、三浦健一郎先生が新事務局長となることが承認された。

#### 7) 顧問の新設

三浦先生より、服部元史先生と穴戸清一郎先生の顧問就任が提案され、承認された。また、会則を変更し、役員の項に顧問を書き加えることが承認された。

#### 17. 次期会長の挨拶

第47回（2026年度）会長の横尾隆先生より準備状況が報告された。2026年12月17日（木）～12月18日（金）に東京国際フォーラムで開催予定であることが報告された。

#### 18. 服部先生から挨拶

事務局長と評議員の退任、名誉会員と顧問の就任について挨拶された。これまでの評議員の先生方による学会運営の支援に対する謝意と今後の本学会のさらなる発展への期待が述べられた。

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成 服部元史

議事録署名 石田英樹

横尾隆

